



平成28年11月24日
第五管区海上保安本部

測量船「明洋」神戸港入港について ～船内取材を実施します～

海上保安庁海洋情報部では、海洋環境の現状を把握するため定期的に測量船等により海水及び海底堆積物採取を実施しています。

また、巨大地震が発生すると考えられている南海トラフ沿いの陸側プレートの動きを探る海底地殻変動観測をしています。

同調査、観測を実施している測量船「明洋」【清水 直哉（シミズ ナオヤ）船長】が、12月9日（金）午前10時頃、主要湾域海洋汚染及び放射能調査航海の途上に神戸港新港第1突堤東側の岸壁に入港します。

次のとおり船内取材の希望を受け付けますので、希望される場合は、問い合わせ先へ連絡をお願いします。

- 1 入港日時 平成28年12月9日（金）午前10時
- 2 着岸場所 神戸港新港第1突堤 EF（第1突堤の付け根東側）
- 3 船内取材日時 平成28年12月9日（金）午後3時～4時の間
- 4 船内取材場所 着岸中の測量船「明洋」船内
※当日は、午後2時55分までに測量船「明洋」舷梯前にお集まり下さい。

5 船内取材の内容

（1）測量船「明洋」観測室の公開

（2）調査内容等の説明

- ・主要湾域海洋汚染及び放射能調査について

説明者：海洋情報部環境調査課海洋汚染調査室

主任環境調査官 松本 敬三（マツモト ケイゾウ）

- ・海底地殻変動観測について

説明者：測量船明洋

観測長 吉田 茂（ヨシダ シゲル）

（3）分析装置の公開

海底地殻変動観測装置及び採泥器の公開

6 その他

- ・取材を効率的に進めるため、質問事項がありましたら事前にお知らせ下さい。
- ・入港模様の撮影は可能ですので、入港時刻に併せて着岸壁で撮影下さい。



測量船明洋（船型番号 HLO3）

総トン数 550トン

主要寸法（全長×巾）：60.0×10.5メートル

主要観測機器：複合測位装置、マルチビーム音響測深機
投下式鉛直水温連続測定装置（XBT）
多層音波流速計（ADCP）
海底地殻変動観測装置など

測量船「明洋」は、平成2年10月に就役し、海上保安庁海洋情報部に所属している測量船で、主に沿岸域での海底地形調査・海洋観測・海洋汚染調査・海底地殻変動観測等の調査の主力測量船として活躍しています。